

## 私の出家の区分けとその真意

正規出家	10歳～29歳までに出家をした人
途中出家	30歳～39歳までに出家をした人
出家不適格期間	40歳～59歳
定年出家	60歳後に出家をした人

私が個人的に出家得度を認めない年齢層。40歳～59歳までを出家不適格期間として当院ではご遠慮をさせていただきます。その理由については令和3年の年頭所感をご参照してください。またこれは私の持論、信念、哲学によるものですが一定の経験則が下敷きにあります。出家志願者や僧侶の採用のための判断、診断書として活用していただけますと幸いです。これからの時代はお寺や僧侶や宗派がふるいにかけて本物、本気、本当の人やモノしか必要とされなくなります。真価が問われ、見極めや見定めの中で選ばれたものだけが生き残ります。葬儀も法事も祈願も参詣も宿坊も衰退の一途を辿っていきます。令和の時代は葬儀や墓地や祈願から人々の関心は離れていきます。よほどの付加価値があるか魅力があるか複合的なものではない限り見捨てられていくことでしょう。寺院社会も淘汰、再編は待ったなしです。私も心して生きて参りたいと思う今日この頃です。

「生死事大、無常迅速、時不待人、謹勿放逸（しょうじじだい、むじょうじんそく、とき、ひとをまたず、つつしんで、ほういつなるなかれ）」

七仏通誡偈（しちぶつつうかいげ）

諸悪莫作（しよあくまくさ） ----- もろもろの悪をなすことなく

衆善奉行（しゅうぜんぶぎょう） ----- もろもろの善を行い

自浄其意（じじょうごい） ----- みずからそのこころを浄くし

是諸仏教（ぜしよぶつきょう） ----- 是がもちもろの仏の教えなり

『学堂用心集』（道元禅師著）中

「行者自身のため仏法を修すと念（おも）うべからず、ただ仏法の為に仏法を修する乃（すなわ）ち是れ道なり。」と

合掌

令和3年2年9日

見性院住職